

第 32 回高齢者排泄ケア講習会

アンケート集計結果

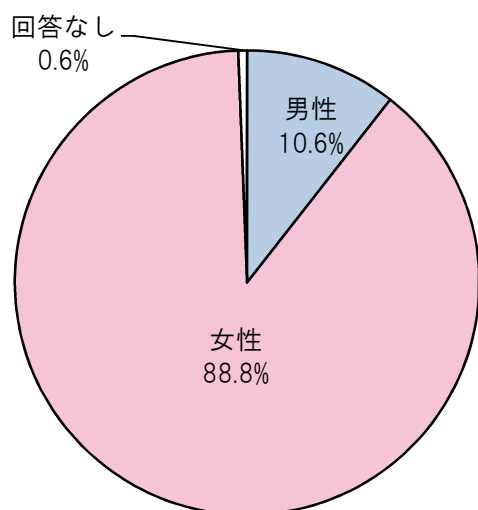
* H24.8.3（金） 実施

会場： KKR ホテル博多

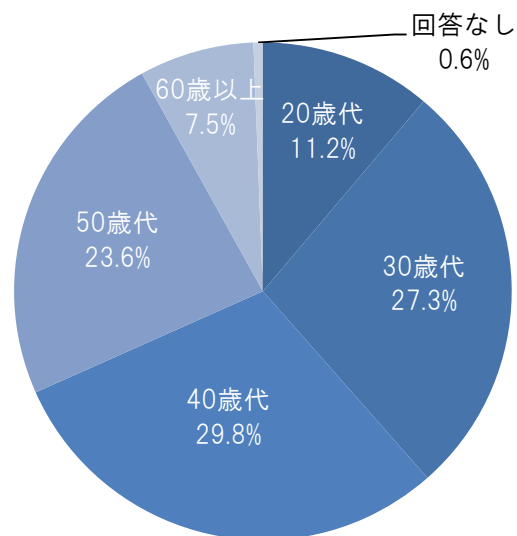
講習会参加者 177 名／アンケート回答者 161 名（回答率 91.0%）

■ あなたご自身についてお伺いします

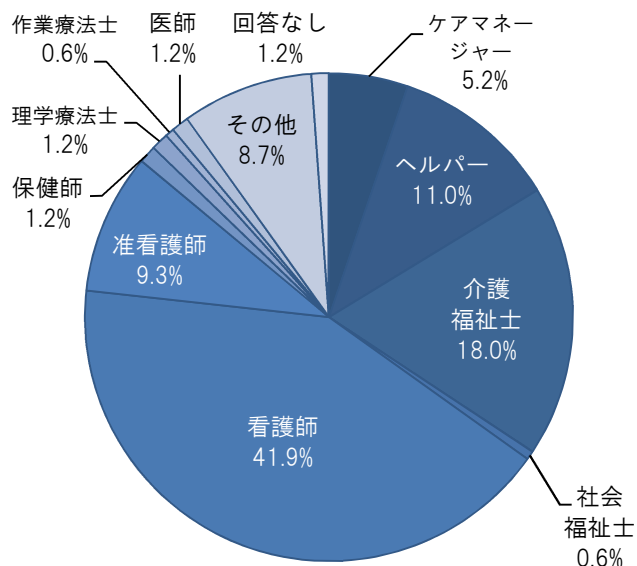
1) 性別



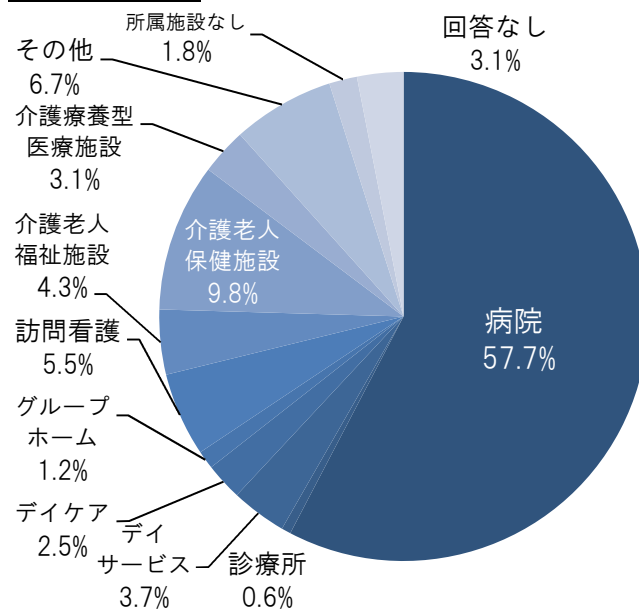
2) 年齢



3) 職種

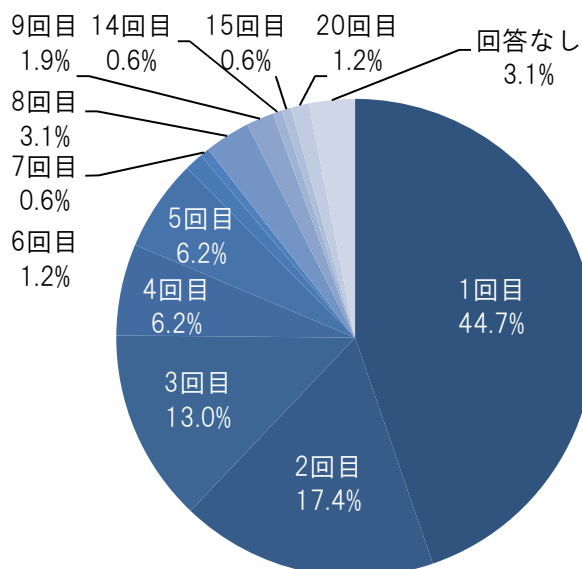


4) 所属施設

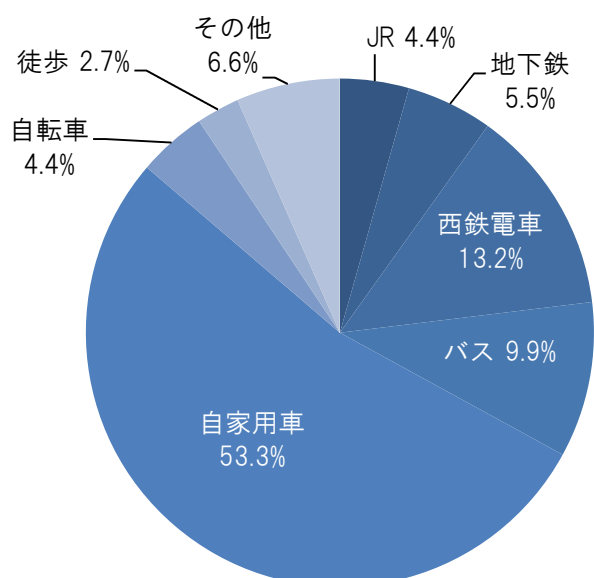


■ 高齢者排泄ケア講習会についてお伺いします

1) 今回でこの講習会は何回目のご参加ですか？

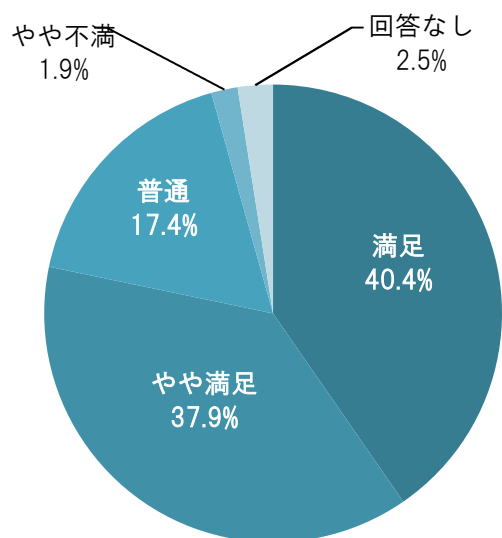


2) ご来場の際に利用された交通機関

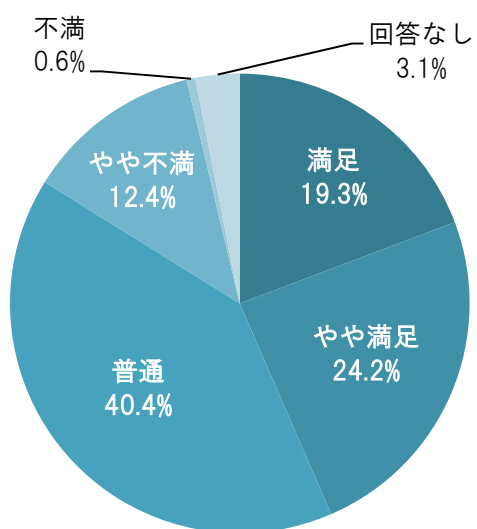


3】 本日の講習会の内容について

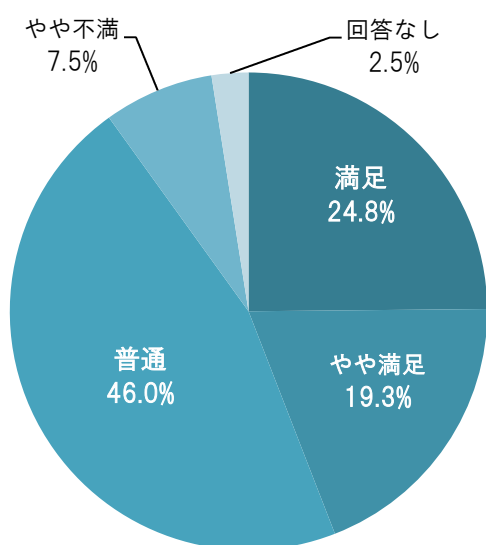
◆ 便失禁に伴うトラブルに対する看護の実際



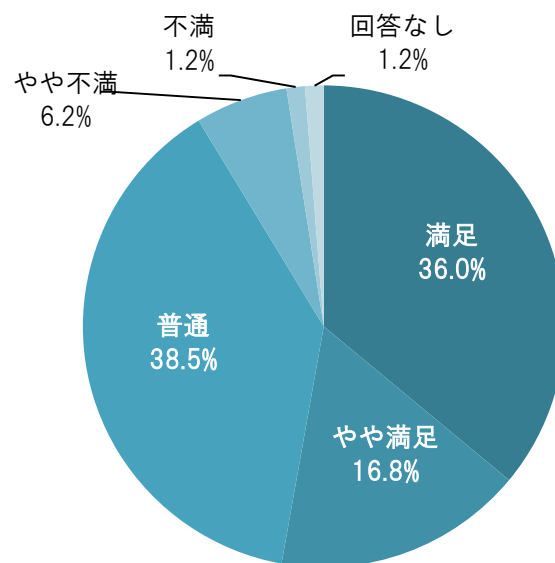
◆ 事例発表



4】 本日の講演時間について



5】 本日の会場について



6】 今後、講習会で取り上げてほしいテーマやご要望など、ご意見がございましたらご記入ください。

- ・ 毎回とても具体的かつ実践的な講習会をありがとうございます。すぐもち帰り、取り組める内容でした。
- ・ 排泄の大切さを学んだのは、実際の職場ですが、奥が深いし、専門用語も出てきますし、まだまだ学んでいきたいです。これからもどうぞよろしくお願いいたします。
- ・ はじめてきたので、またきてみたいと思いました。
- ・ 教育講演について：問題とするところが違った。
- ・ 教育講演について：パワーポイントの資料より配布の分が少なく、また、メモをとろうとしても早くスライドが切り替わり、メモできなかった。もう少し資料を増やしてほしい。
- ・ 本日の教育講演は次回も症例等をもっとたくさん教えていただきたい。継続してほしいと思いました。
- ・ 事例発表について：職種が異なって視点が違った。グループディスカッションなどできれば。精神科という特色がもっとあればよかった。
- ・ 事例発表について：もっと詳しく説明していただきたかった。
- ・ 他職種の方の取り組みの発表、とても勉強になりました。チーム医療の素晴らしさを学びました。
- ・ チーム医療の取り組みは参考になりました。
- ・ すごくわかりやすいケアを聞くことができました。チームプレイが必要だと感じました。
- ・ 事例を入れて講演してもらおうとわかりやすく、印象に残ります。次回もお願いします。
- ・ 下痢食というのをはじめて聞きました。整腸剤だけでなく、食事でもコントロールを行うことを試してみようと思いました。
- ・ ESBL に対しての知識がなかったので、理解するのに時間を要した。
- ・ 精神領域におけるリハビリからのアプローチにより精神疾患の患者さんも緩下剤に対して疑問も生まれ、また、便秘も改善されるという成果が出てよかったと思います。
- ・ 事例発表②について：集団でする 多くのスタッフ 病棟全体で行う利点がいまいち理解できなかった。
- ・ 目からうろこの講演でした。次回もまた来たいです。Dr. → 栄養士さんへの質問はちょっと酷かな…と思いました。専門 Dr.のコメント・フォロー（返答）があればと思います。
- ・ ディスカッションの場があったらよかった。
- ・ いつも病院関連の発表や取り組みが多い気がします。私はもと介護施設で働いていました。施設の職員として聞くと難しい気もします。一度、施設・病院と対象を区別してみてもどうですか？

- ・ 看護でなく介護の視点からの話を聞きたい。
- ・ 認知症があったり、高齢者の方で排泄確認が難しい人へのアプローチについて等病院以外での排泄ケアについて教えていただきたいです。
- ・ 認知症患者に対して介護職が中心となった排尿管に対する取り組みの実施例
- ・ 認知症患者に対する排泄ケア！！
- ・ 認知症の方への排便コントロール
- ・ 「高齢者排泄ケア」ということなので、高齢者に対しての排泄援助の方法（特に認知症の患者に対する）を講習、事例発表をしていただきたいです。
- ・ 寝たきり患者に介護者が行える排泄アプローチなど
- ・ 寝たきり患者さんの排泄ケア(便秘、下痢、イレウス等に関しての下剤使用の実際について)
- ・ 在宅における排泄ケアについて
- ・ オムツ外しを目的としているならば、そういう結果の事例も聞きたいと思います。
- ・ オムツはぎや不潔行為の多い患者への対応。失禁をどうすれば防げるか。
- ・ チームケア（排泄、排尿管についてのアセスメント）
- ・ 便と尿の関係について。例えば、便秘または下痢であると排尿に影響はないのか？
- ・ 高次機能障害の患者向けの尿、便失禁に関する講習会
- ・ 荒木先生、神山先生、種子田先生の排便（特に便秘の方の下剤使用による水様便など）についての専門的な講演をお願いします。
- ・ より専門的なものを…
- ・ もう一步ふみ込んだ排泄へのアプローチ
- ・ 便や陰部さわりの改善
- ・ 薬剤の副作用による便秘に対する治療とケア。
- ・ 便秘者に対する取り組み
- ・ 熱発はないが尿臭が強い高齢者の対応方法を知りたい。
- ・ 事例発表をたくさん聞きたいです。介護の面からオムツはずしからはじめたこともあり、便・尿に関しては興味がとてもあります。参加できないとき、資料だけでも希望者には郵送できるようにしていただければありがたいです。（もちろん着払いにて^^）
- ・ BPH の排尿障害に対する勉強会をお願いします。
- ・ 排尿障害
- ・ CIC 指導について
- ・ 尿失禁による皮膚トラブルに対するケアの実践。
- ・ 脳血管疾患患者の排泄の取り組みについて詳しく知りたい。
- ・ 医療面が強い。人間生きていくうえで、介護の中で排泄というのは大事なのであるが、QOL のうえでのコントロールと HP からの退院へのアプローチを考えることが必要だと思います。
- ・ 排泄時の人間尊厳 浜田きよ子さんの講演

会場について：

- ・ エアコンがききすぎて寒かった。（他 10 名）
- ・ 駐車場が少ない。
- ・ 博多区あたりでの開催を希望
- ・ 久留米市でも開催してほしい。
- ・ 宗像から来ましたが遠く感じました。
- ・ 来場ににくい
- ・ 広さはいいが、駅より徒歩ではやや遠く感じた。
- ・ ハガキに会場までのアクセス方法がなかったため「やや不満」

講演時間について：

- ・ みじかい
- ・ 時間的に遅いので昼にしてほしい！
- ・ 講習の時間が遅く、集中力が欠けるため、日中にしてほしい。途中で休憩を入れてほしかった。
- ・ 参加費を少し上げて軽食をつけてほしい。